

## ファームウェア V1.22 の新機能追加

ファームウェア V1.22 より、次の機能を追加しました。

- WAV ファイルの再生に対応
- 外部ファイルの自動認識機能を追加
- テイクモード / プレイリストモードにタイムコード時刻ベースのマニュアルロケート機能を追加
- 新規プロジェクト / セッション作成時にテイク名を初期化
- テイクモードでの録音時に動作中表示を追加
- Digital 入力 Unlock 時の Mute 処理を変更
- ホーム画面にコンフィデンスモニターの有効 / 無効 / OFF 状態表示を追加
- プレイリストモードのエントリー編集画面の操作方法変更、音声モニターのリハーサル再生機能を追加
- エントリーリスト画面でのアサイン変更機能を追加
- BC \$STANDBY / END 範囲一括切り換え機能を追加
- オンエアーモード（ルートにあるファイルを再生するモード）を追加
- BC \$END 動作モード設定を追加
- SONY P2 REC コマンドに対応
- システム設定のバックアップ機能およびプリセットメモリー機能を追加
- オートマーカー / "PRE/REC/END" の ON / OFF 切り換え機能を追加
- バウンスの保存先を選択可能に変更
- テイクのコピー機能を追加
- "REMOTE SETUP" 画面に "ETHERNET" タブ画面を追加
- ネットワーク機能 (FTP/telnet/VNC) を追加

### WAV ファイルの再生に対応

BWF 形式でない WAV ファイルの再生に対応しました。

なお、WAV ファイルの再生開始時刻 (Start TC) の編集を行う場合は、自動で BWF 形式に変換し、ポップアップメッセージで通知します。

### 外部ファイルの自動認識機能を追加

CF カードにて外部ファイルを読み込む際に行っていた手動による Rebuild 操作を不要とし、自動で認識するように変更しました。

### テイクモード / プレイリストモードにタイムコード時刻ベースのマニュアルロケート機能を追加

時間表示モードが "T/Cc" の時、タイムコード時刻ベースのマニュアルロケート機能を、テイクモード / プレイリストモードでも行えるように変更しました。

### 新規プロジェクト / セッション作成時にテイク名を初期化

新規プロジェクト / セッション作成時、ホーム画面の "NEXT TAKE NAME" タブ画面の設定値を、初期値 "Session Name" 設定とし、作成した "セッション名" + "T001" に初期化するように変更しました。(→取扱説明書 17 ページ「NEXT TAKE NAME ボタン」参照)

### テイクモードでの録音時に動作中表示を追加

テイクモードでの録音時、ホーム画面の時刻表示下に、約 5 秒周期で左端から右端まで伸びる赤いプログレスバー表示 (下図参照) を追加し、録音動作中であることがわかりやすくなるように変更しました。

プログレスバー表示



### Digital 入力 Unlock 時の Mute 処理

Digital 入力の Unlock を検出しても入力信号を Mute しないよう変更しました。

### ホーム画面にコンフィデンスモニターの有効 / 無効 / OFF 状態表示を追加

コンフィデンスモニターの状態をホーム画面上で確認できるように、ホーム画面のトランスポートアイコンと時間表示の間にコンフィデンスモニターボタン (アイコン画像) を追加しました。

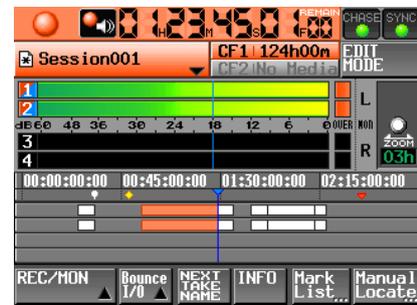
このボタンを押すと、コンフィデンスモニターを設定する "REC SETUP" 画面の "REC MODE" タブ画面を表示します。

コンフィデンスモニターのオン / オフ設定については変更ありません。取扱説明書の 71 ページ 第 10 章 内部設定詳細「録音設定 (REC SETUP)」の項目を参照してください。

#### Confidence Monitor 有効状態:

下記の設定で、Confidence Monitor 動作が実施できる状態。

- Confidence Monitor : ON
- Fs : 44.1kHz / 48kHz / 47.952kHz / 48.048kHz (48kHz ± 0.1%)
- Rec Function : ON が 2tr 以下



#### Confidence Monitor 無効状態:

Confidence Monitor が ON にもかかわらず、Fs と Rec Function の設定条件が下記のいずれかに当てはまり、Confidence Monitor 動作が実施できない状態。

- Confidence Monitor : ON
- Fs : 88.2kHz / 96kHz
- Rec Function : ON が 3tr 以上



#### Confidence Monitor OFF 状態:

Confidence Monitor が OFF で、Confidence Monitor 動作が実施できない状態。

- Confidence Monitor : OFF



## プレイリストモードのエントリー編集画面の操作方法変更、音声モニターのリハーサル再生機能を追加

プレイリストモードのエントリーの編集を行う、“ADJUST” ボタンで開く画面の表示内容の変更、および操作方法を変更しました。

### ● 追加された表示項目

再生範囲表示エリアに下記を追加しました。

- 基準レベル線 (0dB) 表示
- Adjust したレベル線表示
- 各種マークアイコン表示
- “◀◀ / ▶▶” ボタンで Adjust 対象エントリーが切り換わりします。

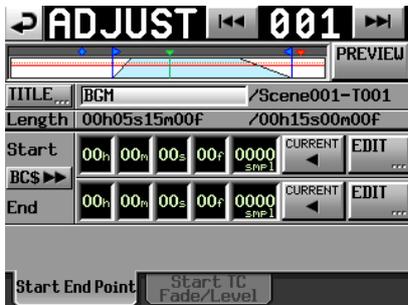
### ● 再生開始 / 終了位置の編集

1. フロントパネルの HOME キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の“ADJUST ENTRY” ボタンを押します。  
“ADJUST x x x” 画面が表示されます。(“x x x” はエントリー番号を表します)

### メモ

この画面は、エントリーリスト画面でテイクを選択した状態または、ファイルアサイン画面で、左側のキーを選択した状態で“MENU” ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で“ADJUST” ボタンを押すことでも表示できます。

3. “Start End Point” タブ画面を表示します。



4. 時刻表示桁をタッチすると黄色のハイライト状態になり、該当するカーソルバーが点滅します。  
時刻桁が選択された状態では、ダイヤル操作で、Start / End 位置が変更できます。  
選択桁の桁上げや桁下げにより、上位桁が ±1 になります。
5. 変更したい分解能に合わせて桁を選択します。  
フレーム精度で変更する際はフレーム桁を選択し、サンプル精度で変更する際はサンプル桁を選択します。  
“CURRENT” ボタンで、現在の再生位置を Start / End 位置にキャプチャーできます。  
“EDIT” ボタンで、数字ボタン画面・マークリスト画面に切り換えができます。
6. “BC \$▶▶” ボタンで、BC \$STANDBY / END マークの時刻を“Start / End Point”に取り込むかどうかの確認のポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウの“OK” ボタンを押すと、BC \$STANDBY / END マークの時刻を“Start / End Point”に取り込みます。  
ポップアップウィンドウの“RESET” ボタンを押すと、“Start/End Point”がファイルの先頭 / 末尾時刻にリセットします。

### メモ

再生開始 / 終了時刻を変更する際、再生開始 / 終了時刻間の長さがフェードイン / フェードアウトの長さの合計より長くなるように、再生開始 / 終了時刻の設定値を自動的に抑えます。

BC \$STANDBY/END 範囲がフェードイン / フェードアウトの長さの合計より短くなる場合、フェードイン / フェードアウト時間はクリアされます。

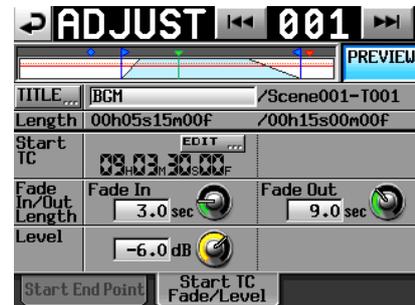
### ● 再生開始時刻の編集

1. フロントパネルの HOME キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の“ADJUST ENTRY” ボタンを押します。  
“ADJUST x x x” 画面が表示されます(“x x x” はエントリー番号を表します)。

### メモ

この画面は、エントリーリスト画面でテイクを選択した状態または、ファイルアサイン画面で、左側のキーを選択した状態で“MENU” ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で“ADJUST” ボタンを押すことでも表示できます。

3. “Start TC Fade/Level” タブを押して以下の画面を表示します。



4. “EDIT” ボタンを押して開く、“EDIT START TC” 画面の数字ボタンで Start TC を変更します。

### ● フェードイン / アウト長、レベルの編集

5. フロントパネルの HOME キーを押して、ホーム画面を表示します。
6. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の“ADJUST ENTRY” ボタンを押します。  
“ADJUST x x x” 画面が表示されます (“x x x” はエントリー番号を表します)。
7. “Start TC Fade/Level” タブを押して以下の画面を表示します。
8. “Fade In”, “Fade Out”, “Level” ノブを選択した後、DATA ダイアルを回して設定します。

設定値：

- Fade In/Out Length : 0-30 秒  
(0.1 秒 / step : 押し直し時は 1.0 秒 /step)
- Level の値域 : -∞ ~ +10dB

### メモ

フェードイン / アウト長を変更する際、フェードイン / アウト長が再生開始 / 終了時刻の長さ以下となるように、フェードイン / アウト長の設定値を自動的に抑えます。

### ● リハーサル再生操作 / 動作

この画面でトランスポート操作を行うことでリハーサル再生を実施します。  
◀◀ / ▶▶ キー操作で「素材先頭 / Start Point / End Point / 素材末尾」に移動する以外は、通常のトランスポート操作と同じです。  
“PREVIEW” ボタンでリハーサル再生内容が切り換わりします。

- Start Point / Fade In Length を変更すると、再生位置を Start Point に移動します。再生中に変更した場合は、再生位置を移動後に再生します。
- End Point / Fade Out Length を変更すると、再生位置を下記位置に移動します。再生中に変更した場合は、再生位置を移動後に再生します。

	PREVIEW OFF 時	PREVIEW ON 時
EndPoint 変更時	EndPoint の 2 秒前	FadeOut 開始位置の 2 秒前
FadeOutLength 変更時	FadeOut 開始位置の 2 秒前	FadeOut 開始位置の 2 秒前

### PREVIEW OFF 時のリハーサル再生

- Fade IN / OUT および Level Adjust 無しの音を再生します。
- Start / End Point の範囲外に移動ができます。
- 再生中に End Point に到達した場合、停止して再生位置を Start Point に移動します。

PLAY キーを押すと Start Point から再生を開始します。

End Point 以降への移動は、▶▶ キー、▶▶▶ キー、SHIFT+▶▶▶ キー、JOG / SHUTTLE ダイアルの操作で行います。

## PREVIEW ON 時のリハーサル再生

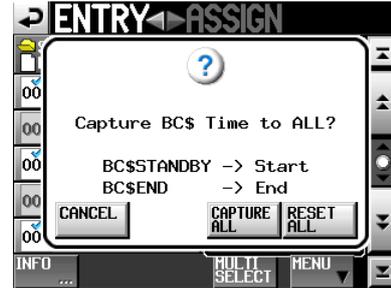
- Start / End Point の範囲内だけを再生します。  
範囲外には移動できません。
- Fade IN / OUT 設定およびレベル設定どおりの音を再生します。

### メモ

リハーサル再生音を本線に送出してしまう事故防止のために、下記の操作制限があります。

- オンラインファンクションの設定が Switchable でオンライン再生モードがオンの時、“Adjust” 画面への切り換えはできません。  
(デュアルモード時は該当プレイヤーがオンライン再生モードがオンの時のみ切り換え不可です。)
- “Adjust” 画面表示中はオンライン再生モードをオンへ切り換えることはできません。(デュアルモード時は“Adjust”中のプレイヤー側のみ、切り換えできません。)

2. プルアップメニューに追加された“CAPTURE BC \$” ボタンを押すと、以下のメッセージをポップアップウィンドウに表示します。



### メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すと、ファイルアサイン画面またはエントリーリスト画面に戻ります。

3. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、以下のメッセージをポップアップウィンドウに表示します。



4. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、BC \$STANDBY – BC \$END マークの範囲に一括切り換えします。

### メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すと、ファイルアサイン画面またはエントリーリスト画面に戻ります。

5. 手順 1. のポップアップウィンドウ内の“RESET ALL” ボタンを押すと、以下のメッセージをポップアップウィンドウに表示します。



6. ポップアップウィンドウ内の“RESET ALL” ボタンを押すと、エントリーの開始 / 終了時刻がファイルの先頭 / 末尾時刻にリセットされます。

### メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すと、ファイルアサイン画面またはエントリーリスト画面に戻ります。

## エントリーリスト画面でのアサイン変更

エントリーリスト画面でエントリー名ボタンを押すと、右側にテキリストを表示し、リスト表示の状態でアサインを変更できるようにしました。



## BC \$STANDBY / END 範囲一括切り換え機能を追加

一括して BC \$STANDBY – BC \$END マークの範囲に登録を切り換える機能を追加しました。

1. プレイリストモードのファイルアサイン画面がエントリーリスト画面のプルアップメニューを表示します。



## オンエアモード（ルートにあるファイルを再生するモード）を追加

オペレーションモードに、オンエアモード（CFカードのルートにあるオーディオファイルを再生するモード [本機で設定されたFsに一致したファイルのみ]）を追加しました。各画面の変更点は以下のとおりです。

### 1. オンエアモードに切り換えるには、“OPERATION MODE”画面に追加された“ON AIR MODE”を選択します。

SET ボタンを押すと、オンエアモードに切り換わり、ホーム画面が表示されます。



### 2. オンエアモードのホーム画面では、情報欄に2つ先までのテイク名を表示します。

この情報欄がテイク名ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの“ON AIR LIST”ボタンを押すと、“ON AIR LIST”画面に切り換わります。

## ヒント

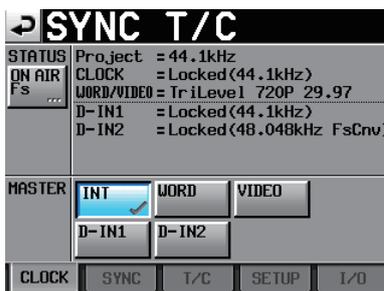
オンエアモード時は、“PROJECT”キーを押すことでも、“ON AIR LIST”画面に切り換えることができます。



### 3. オンエアリスト画面には、CFカードのルートにあるオーディオファイル（本機で設定されたFsに一致したファイルのみ）をファイル名順に表示します。

オンエアモード時のFs切り換えは、“SYNC T/C”画面の“CLOCK”タブ画面で行います。

ホーム画面の“SYNC”ボタンを押して、“SYNC T/C”画面を表示します。



画面左上の“ON AIR Fs”ボタンを押して、“ON AIR Fs”画面を表示します。



## メモ

- Fsを切り換えた場合、選択されたFsに一致するファイルだけを表示します。
  - 認識できるファイル数は、選択されたFsと一致するオーディオファイル100個以下です。該当ファイルが100個を超える場合は、ファイル名順に並べて先頭から100個までを認識します。
  - Fsが一致しても、5ch以上のファイルなど、本機の再生対象外ファイルは認識しません。
4. 左端の“SELECT”ボタンをタッチすることでチェックマークをON/OFFし、オンエア再生対象ファイルを選択します。  
チェックマークを外すと、グレースアウトしてオンエア再生対象外になります。
  5. ファイル名選択ボタンでファイルを選択し、カレントテイクとします。

## メモ

- 再生対象ファイルのみ、ファイル名ボタンで選択ができます。
  - 起動時 / Fs切り換え時 / オンエアモードへの切り換え時は、リスト先頭の再生対象ファイルがカレントテイクとして選択状態となります。
6. “CREDITS”ボタンを押すと、選択されたファイルの先頭から再生を開始し、該当マークで停止する、クレジット再生を行います。
    - “Follow BWF-J”設定がオンの場合、ファイルの先頭から最初のBC \$STANDBYマークまでを再生します。
    - “Follow BWF-J”設定がオフの場合、ファイルの先頭から最初のマークまでを再生します。
- 再生中のテイク名ボタンは緑色ボタンになります。



## メモ

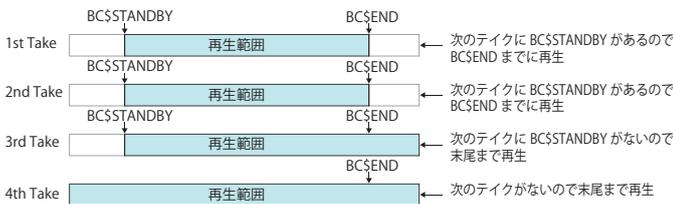
- 選択ファイルに有効なマークが無い場合、ファイルの最後まで再生を行い停止します。
- “SELECT”ボタンは、停止中かつ“ON AIR”ボタンがOFFのときのみ操作できます。
- “ON AIR”ボタンは、停止中のみ操作できます。
- “テイク名”ボタンと“CREDITS”ボタンは、“ON AIR”ボタンがOFFで停止中もしくは“ON AIR”ボタンがOFFでクレジット再生中に操作が可能ですが、“ON AIR”ボタンがONの場合や通常再生中は操作できません。
- 各ファイルの“LENGTH”欄は「再生可能範囲の長さ(\*)」を表示します。画面右上の“LENGTH”欄の下には、「再生対象ファイルの再生可能範囲の合計」を表示します。
- クレジット再生中に“CREDITS”ボタンを押すと停止します。（クレジット再生 / 停止のトグル動作）

\*再生可能範囲の長さ

ON AIR ボタン	BWF-J Follow	BC \$END Mode	再生可能範囲
OFF	—	—	テイク全体
ON	OFF	—	テイク全体
ON	ON	Normal	テイク全体
ON	ON	Jump to Standby	次テイクに BC \$STANDBY マークがある: BC \$STANDBY ~ BC \$END
			次テイクに BC \$STANDBY マークがな BC \$STANDBY ~ テイク末尾

注) BC \$STANDBY マークが無い場合 : テイク先頭からの長さ  
BC \$END マークが無い場合 : テイク末尾までの長さ  
BC \$STANDBY/BC \$END 以外のマークは、再生可能範囲には影響しません。

## 【ON AIR ボタン : ON / Follow BWF-J : ON / BC \$ END モード : Jump to Standby 時の再生範囲例】



## 7. ON AIR LIST 画面の“INFO” ボタンを押すと、下記のポップアップウィンドウが表示されます。

- テイクが表示されている状態でのポップアップウィンドウは、選択テイクの情報を表示します。



- テイクが表示されていない状態や再生対象テイクが1つもない状態でのポップアップウィンドウは、Fs 情報と CF 容量情報を表示します。



## 【ON AIR ボタンによるリハーサル / 確認再生モードと本番再生モードの切り換え】

### ON AIR ボタン ON (赤ボタン) : 本番再生モード

“CREDITS 再生” ボタンが無効になり、上記再生可能範囲のみ再生が可能です。(“CREDITS 再生” / チェック / ファイル名の各ボタンは、操作できません。)

OFF → ON の切り換え時には、ホーム画面のタイムカウンターが TOTAL TIME 表示に切り換わります。また先頭テイクの先頭位置にジャンプして待機状態 (PLAY PAUSE) になります。

### ON AIR ボタン OFF : リハーサル / 確認再生モード

“CREDITS 再生” ボタンが有効になり、テイク全範囲への移動 / 再生が可能になります。

ON → OFF 切り換え時、ホーム画面のタイムカウンターが ELAPSE モードに切り換わります。

## BC \$END 動作モード設定を追加

完プロ再生時に通常の BC \$END とは異なる動作をさせる下記機能

(BC \$END マークから次のテイクの BC \$STANDBY マークにジャンプして再生を継続させる機能) を “PLAY SETUP” 画面の “GENERAL” タブに追加しました。



### ■ BC \$END

“Normal” :

END タリートを出力して再生を継続します。

“Jump to Standby” :

END タリートを出力して次のテイクの BC \$STANDBY マークへジャンプして再生を継続します。次のテイクの BC \$STANDBY マークが無い場合はジャンプせずに再生を継続します。)

### メモ

- この設定は、オンエアーモード時のみ有効です。他のオペレーションモードでは表示されません。
- “PLAY SETUP” 画面の下記設定は、オペレーションモードをオンエアーモードに切り換えた際に OFF に初期化します。ON への変更は可能ですが、変更はバックアップされません。  
(リピートモード、オートキュー、オートレディ、インクリメンタルプレイ)
- オンエアーモードではマークの設定 / 編集 / 削除は禁止になります。  
Mark キーを押した時はポップアップウィンドウに “Cannot set Markpoint in ON AIR Mode.” と表示します。  
マークリスト画面の “EDIT NAME” / “EDIT TIME” / “DELETE” の各ボタンは、無効表示となり操作できません。

## SONY P2 REC コマンドに対応

SONY P2 プロトコルの REC コマンドに対応しました。

### メモ

本機のプロトコル対応へについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

## システム設定のバックアップ機能およびプリセットメモリー機能を追加

“SYSTEM SETUP” 画面に “Backup / Startup” タブを追加し、システムファイルの Import / Export、ユーザー設定の保存 / 読み込み、電源投入時の起動設定ができるように変更しました。



### ■ System Backup

- “Export” ボタンで SystemBackup データ全て (User Preset データを含む) を CF カードに書き出します。
- “Import ALL” ボタンで CF カードの SystemBackup データ全て (User Preset データを含む) を読み出し、内蔵メモリーを書き換えます。  
読み出した User Preset データは、機器の動作に反映されます。
- “Import User” ボタンで CF カードの SystemBackup データのうち User Preset データだけを読み出し、内蔵メモリーの UserPreset を書き換えます。  
読み出した User Preset データは、機器の動作に反映されません。  
反映させるには、“Load Preset” の “User” ボタンで User Preset データのロードを行ってください。

System Backup ファイルが無い場合は、インポートしない旨のポップアップウィンドウを表示します。

## ■ Save User Preset

“Save” ボタンを押すことにより、現在の設定値を Preset データとして内蔵メモリーに保存します。

## ■ Load Preset

“User” ボタンを押すと User Preset データを、“Factory” ボタンを押すと Factory Preset データ（工場出荷時の設定値）をロードします。

## ■ Startup Mode

- “Last Setting” : 前回の設定で起動します。
- “User Preset” : User Preset 設定で起動します。
- “Factory Preset” : Factory Preset 設定で起動します。

## メモ

- Preset データの保存・読み出し対象の設定項目は、プロジェクトに含まれない以下のバックアップ設定となります。

画面名	タブ画面名	対象設定項目
“HOME” 画面		タイムカウンター表示モード
“LOCK SETUP” 画面		全設定
“PLAY SETUP” 画面	“CONTROL” タブ画面	“PLAY INHIBIT TIME”
“SYNC T/C” 画面	“CLOCK” タブ画面	“MASTER”
	“SYNC” タブ画面	“Master TC”
“ON AIR Fs” 画面		“ON AIR Fs”
“REMOTE SETUP” 画面	“GENERAL” タブ画面	“FADER MODE”
		“FADER Start MODE”
		“FADER Stop MODE”
	“PARALLEL” タブ画面	“AUX Assign”
“RS-232C” タブ画面		全設定
		全設定
“ETHERNET” タブ画面		全設定
		全設定
“MIXER SETUP” 画面	“INPUT” タブ画面	“INPUT SOURCE”
	“SETUP” タブ画面	“Output 1-4 Source”
“SYSTEM SETUP” 画面	“PREFERENCE” タブ画面	“ONLINE Function”
		“Digital Ref Level”
		“Analog Input Ref Lvl”
	“Analog Output Ref Lvl”	
“ANALOG Ref LVL ADJUST” タブ画面	全設定	
“Backup/Startup” タブ画面	“Startup Mode”	
“OPERATION MODE” 画面		オペレーションモードがオンエアモードかそれ以外かの設定 (この設定が「オンエアモード以外」の場合は、CF カードに保存されているオペレーションモードに切り換わる)

- 工場出荷時の User Preset データは、Factory Preset データと同じ設定になっています。
- UserPreset メモリーに格納されている StartupMode 設定が、LastSetting や FactoryPreset の状態で、StartupMode を UserPreset に切り換えてから、SaveUserPreset を実施せずに、再起動すると UserPreset 設定が Load されます。その後、StartupMode 設定が UserPreset メモリーに格納されている LastSetting や FactoryPreset に切り換わります。この場合、再度 LastSetting や FactoryPreset の設定を Load しないおすことはありません。次回起動時に LastSetting や FactoryPreset の設定が Load されます。

## オートマーカー / “PRE/REC/END” の ON / OFF 切り換え機能を追加

“REC SETUP” 画面の “OPTIONS” タブ画面の中に、“PRE/REC/END” の ON/OFF ボタンを追加し、プリレック開始位置 / 録音開始位置 / 録音終了位置に自動的にマークポイントを付けるかどうかを切り換えできるようにしました。



## バウンスの保存先を選択可能に変更

バウンスファイル名入力画面で “Enter” ボタンを押すと下記のポップアップウィンドウが表示されます。

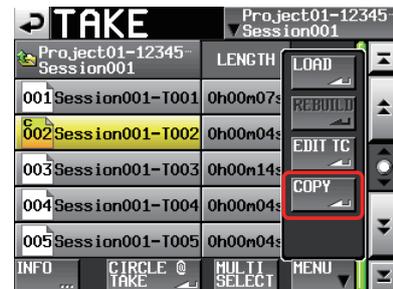
- “Root dir” ボタンを押すと、カレント CF カードのルートディレクトリに保存します。
- “Current Session” ボタンを押すと、カレントセッションに保存します。
- “Cancel” ボタンを押すと保存せず、ポップアップウィンドウの表示がなくなります。



## テイクのコピー機能を追加

カレントセッションのテイクを以下の場所にコピーする機能を、テイクリスト画面内のプルアップメニューに “COPY” ボタンとして追加しました。

- 同一 CF のルート
- 別 CF のルート
- 別 CF のカレントセッション



“COPY” ボタンを押すと下記のポップアップウィンドウが表示されます。

ポップアップウィンドウ内のコピーしたい場所のボタンを押すと、選択したテイクをコピーします。ポップアップウィンドウ内の “CANCEL” ボタンを押すと、テイクリスト画面に戻ります。

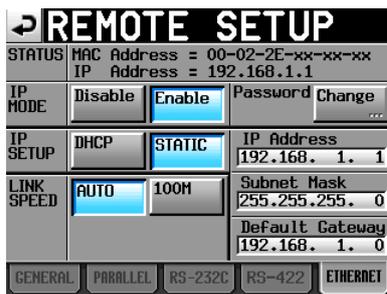


## メモ

- コピー先が空のとき（カレントセッションが存在しないとき）に、CFn Current を選択した場合、コピー元と同じディレクトリを作成してコピーします。
- コピー先に同名ファイルが1つでもある場合、コピー開始前に “Selected Take Already exist in Copy destination.” というポップアップウィンドウが表示され、コピーしません。
- コピーファイルの合計サイズがコピー先の空き容量を超えた場合、コピー開始前に “Cannot Copy. Not enough space on CFn” というポップアップウィンドウが表示され、コピーしません。
- コピー先プロジェクトの Fs が異なる場合、コピー開始前に “Cannot Copy. Destination Project is differentFs.” というポップアップウィンドウが表示され、コピーしません。

## “REMOTE SETUP” 画面に “ETHERNET” タブ画面を追加

ETHERNET の通信設定を行います。



### STATUS

本機の Mac Address と現在の IP Address の表示をします。

### IP MODE

ETHERNET 機能の有効 / 無効切り換えボタンです。

設定ボタン：“Disable”（無効、初期値），“Enable”（有効）

### IP SETUP

DHCP / STATIC を切り換えます。

DHCP 設定では、LAN 上に DHCP サーバーが存在する場合、IP Address ・ Subnet Mask ・ Default Gateway が自動的に取得されます。

STATIC 設定では、IP Address ・ Subnet Mask ・ Default Gateway をマニュアルで設定する必要があります。

設定ボタン：“DHCP”、“STATIC”（初期値）

### LINK SPEED

リンク速度設定ボタンです。

設定ボタン：“AUTO”（初期値。自動的に接続環境に合わせたリンク速度に切り換わります。）

“100M”（100Mbps 固定のリンク速度で動作します。）

### IP Address / Subnet Mask / Default Gateway

STATIC 設定用の IP Address / Subnet Mask / Default Gateway の各値の設定および表示をします。

初期値： 0. 0. 0. 0

上記の “IP SETUP” の設定で、このエリアが下記のように変更されます。

IP Address 192.168. 1. 1	IP Address 192.168. 1. 1	IP Address 192.168. 1. 1
Subnet Mask 255.255.255. 0	Subnet Mask 255.255.255. 0	Subnet Mask 255.255.255. 0
Default Gateway 192.168. 1. 0	Default Gateway 192.168. 1. 0	Default Gateway 192.168. 1. 0

Enable表示

Disable表示

タッチ中

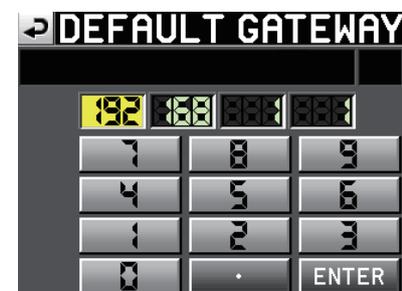
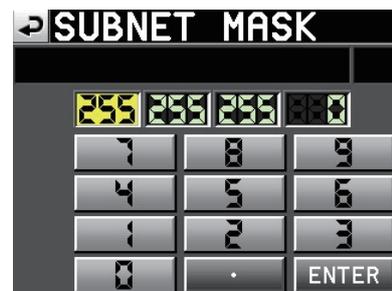
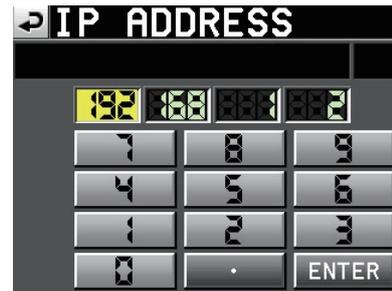
### IP Address / Subnet Mask / Default Gateway 変更画面

“REMOTE SETUP” 画面の “ETHERNET” タブ画面の該当エリアをタッチすることで、それぞれの設定変更画面を表示します。

- 桁数は3桁です。（2桁以下は、上位桁の“0”入力は不要です。）
- 画面を表示後は、最上位桁が選択状態になります。
- 選択状態になってから最初の数字ボタンを押すと、押されたボタンの数字だけが入力された状態になります。それ以後は電卓方式で数字が入力されます。
- ドット（“.”）ボタンを押すと、選択状態が次の桁に移動します。

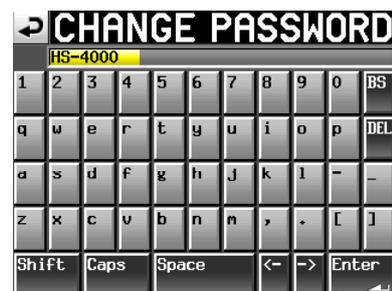
例)

画面表示時	192.168. 1. 1	
1234 と入力	234.168. 1. 1	（先頭の“1”は押し出される）
“.” を入力	192.168. 1. 1	



### Password 変更画面

“REMOTE SETUP” 画面の “ETHERNET” タブ画面の Password の所にある “Change” ボタンを押すと、“CHANGE PASSWORD” 画面が開き、パスワードを設定できます。入力文字数は9文字までです。



## ネットワーク機能 (FTP/telnet/VNC) を追加

### FTP (ファイル・トランスファー・プロトコル)

FTP クライアントアプリケーションを使用することで、本機とコンピューターの間でのファイル転送が可能です。

他の FTP サーバーと同じように本機に接続してログインしてください。

接続してログインするとルートディレクトリに「A:」「B:」と表示されます。

これらはそれぞれ「CF1」「CF2」となります。該当する CF カードが装着されていない場合は、「A:」「B:」以下の内容は表示されません。

### メモ

- 日本語を表示する場合は、Unicode に対応した FTP アプリケーションをご使用ください。
- FTP クライアントアプリケーションの最大同時転送数設定は、必ず「1」に設定してください。  
「1」以外に設定すると正常にファイルが転送できません。
- 動作確認済み FTP クライアントアプリケーションについては、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

### ● FTP 接続する際に必要となる設定値

本機に FTP 接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IP アドレス：本機の IP アドレスは“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の IP Address に表示されます。

ポート番号：21

ユーザー名：“HS-4000”

大文字と小文字を区別します。(変更はできません。)

パスワード：デフォルトのパスワードは“HS-4000”です。

大文字と小文字を区別します。

“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の Password[Change...] ボタンで変更することができます。

### メモ

- 同時接続数は「1」です。  
FTP クライアントアプリケーションによっては、本機に FTP 接続が同時に 2 つできる場合もありますが、正常にファイルを転送できなくなる可能性がありますので、同時に 2 つ以上の FTP 接続を本機に行わないで下さい。
- “LockSetup”画面の EXTERNAL Control が LOCK に設定されている場合は、FTP 接続できません。  
FTP 接続中に LOCK に設定されると、FTP 接続が切断されます。
- FTP 接続中に“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の設定を変更すると、FTP 接続が切断されます。

### ● FTP クライアントアプリケーションによるファイル操作について

- 本機からのファイルの読み出し  
本機からのファイル読み出しは常時可能です。
- 本機への新規ファイル追加  
本機への新規ファイル追加は常時可能です。  
録音時にカレントセッションに BWF ファイルもしくは WAV ファイルを追加した場合は、既存ファイル・録音ファイル・追加ファイルの順でリストに表示されるようになります。
- 本機の既存ファイルへの上書き  
カレントテイクへの上書きは停止中のみ可能です。プレイリストモードのエントリー編集画面で使用中のテイクは、上書き出来ません。これ以外の既存ファイルへの上書きは常時可能です。  
ただし、“Play Setup”画面が、“GENERAL”タブ画面の“Play Mode”が“All Take”設定で再生中の場合、タイミングによってはカレントテイクの次のテイクへの上書きが出来ない場合があります。

### 注意

プレイリストモードにおいてプレイリストのエントリーに登録しているテイクに上書きした場合、エントリーリスト画面やファイルアサイン画面の該当エントリーアイコンに“?”マークが表示されて再生対象外になります。

上書きしたファイルを再生できるようにするには、上書きしたファイルをエントリーに登録し直してください。

### 注意

オンエアモードにおいてオンエアリスト画面に表示されているファイルに上書きした場合、該当テイクのチェックマークがオフになって再生対象外になります。

また、下記リビルドの実施確認メッセージが表示されますので、リビルドを実施してください。リビルドを実施すると全テイクが再生対象になるので、再生対象テイクを選択し直してください。



### 注意

音声ファイルのサイズ / チャンネル数 / ビット長 / Fs が上書き前のファイルから変わってしまうと既存のタイムラインやプレイリストと不整合が生じる場合があります。

不整合が生じた状態で再生すると下記エラーメッセージが表示される場合があります。



不整合を解消してエラーメッセージが表示されないようにするには下記を実施してください。

- タイムラインモード：該当リージョンを削除する。
- テイクモード：該当テイクを CF カードから削除する。
- プレイリストモード：上書きしたファイルをエントリーに登録し直す。
- オンエアモード：“Home”画面 PulldownMenu にある“REBUILD”ボタンでリビルドを実施する。

### 注意

Fs の異なるファイルで既存の音声ファイルを上書きしないでください。不整合を解消することができなくなります。

#### 4. 本機のファイルの削除

カレントテイクの削除は、停止中のみ可能です。

カレントテイク以外のファイルは、常時削除可能です。

但し、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため、ファイル削除後にリビルド(再構成)を実施する必要があります。

ファイル削除後(再生/録音中の場合は停止時)に下記リビルドの実施確認メッセージが表示されますのでリビルドを実施してください。



リビルドを実施しない場合、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため下記メッセージが表示される場合があります。



リビルドが必要な状態になると、下記ボタンに  $\Delta$  マークが表示されます。各種 MENU 内の“REBUILD”ボタンを押してリビルドを実施してください。

- “Home”画面のファイル名表示ボタン
- “Project”画面 MENU ボタン
- 各種 MENU 内の“REBUILD”ボタン



5. 本機への新規フォルダ追加  
本機への新規フォルダ追加は常時可能です。
6. 本機のフォルダの削除  
カレントフォルダの削除は、停止中のみ可能です。  
カレント以外のフォルダは、常時削除可能です。
7. 本機のファイル/フォルダの名前変更  
本機のファイル/フォルダの名前は、変更できません。

## リモートコントロール (Telnet)

本機はポート 23 番経由で Telnet を使ったイーサネットによるリモートコントロールが可能です。

### ● Telnet 接続する際に必要となる設定値

本機に Telnet 接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IP アドレス：本機の IP アドレスは“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の IP Address に表示されます。

ポート番号：23

パスワード：デフォルトのパスワードは“HS-4000”です。

大文字と小文字を区別します。

“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の Password[Change...] ボタンで変更することができます。

### ● 本機に Telnet 接続する

1. 上記 IP アドレス、ポート番号で本機に Telnet 接続後、コンピューターの Enter キーを押してください。
2. Telnet コンソールに“Enter Password”と表示されますので、上記パスワードを入力して Enter キーを押してください。
3. ログインに成功すると Telnet コンソールに“Login Successful”と表示されます。“exit”と入力して Enter キーを押すと Telnet 接続を切断します。

## メモ

- 同時に 2 つの Telnet 接続が可能です。
- “LockSetup”画面の EXTERNAL Control が LOCK に設定されている場合は、Telnet 接続できません。  
Telnet 接続中に LOCK に設定されると、Telnet 接続が切断されます。
- Telnet 接続中に“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の設定を変更すると、Telnet 接続が切断されます。
- 本機の RS-232C コマンドプロトコルについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください

## VNC (ヴァーチャル・ネットワーク・コンピューティング)

VNC ビューワアプリケーションを使用することで、本機の LCD に表示される画面をコンピュータで表示させて操作することが可能です。

VNC ビューワアプリケーション上でマウス操作をすることにより下記操作が可能です。

- マウス左クリック : 本機の LCD タッチと同様の動作をします。
- マウスホイールクリック : 本機の ENTER キーと同様の動作をします。
- マウスホイール操作 : 本機の DATA ダイヤルと同じ動作をします。
- マウスホイール押し回し : 本機の DATA ダイヤルを押しながら操作した場合と同じ、大まかな設定動作 (COARSE モード動作) をします。

また、VNC ビューワアプリケーションをアクティブにしてコンピュータのキーボード操作をすることにより下記操作が可能です。

- F1 ~ F12 キー : 本機に接続した外部キーボードと同じ動作をします。  
詳細は本機マニュアル「第 12 章 その他の機能 > コンピューターキーボードを使った操作 > キーボード操作一覧の操作」を参照ください。
- Home キー : 本機の Home キーと同じ動作をし、Home 画面を表示します。Home キーを押しながら End キーを押すと LockSetup 画面を表示します。
- End キー : 本機の Menu キーと同じ動作をし、Menu 画面を表示します。Home キーを押しながら End キーを押すと LockSetup 画面を表示します。
- PageDown : 本機の Project キーと同じ動作をし、Project 画面を表示します。
- カーソル↑キー : 本機の DATA ダイヤル右回しと同じ動作をします。
- カーソル↓キー : 本機の DATA ダイヤル左回しと同じ動作をします。
- 文字入力キー : 本機がキーボード画面を表示している際に文字を入力します。

## 注意

録音中に本機のファイル/フォルダを FTP で操作した場合、録音後のリテイク (最後に録音したリジョン/テイクの削除) は出来ません。

## ● VNC 接続する際に必要となる設定値

VNC ビューワアプリケーションを本機に接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IP アドレス：本機の IP アドレスは“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の IP Address に表示されます。

パスワード：デフォルトのパスワードは“HS-4000”です。  
大文字と小文字を区別します。

“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の Password[Change...] ボタンで変更することができます。

## メモ

- 2 つ以上同時に VNC 接続することはできません。
- “LockSetup”画面の EXTERNAL Control が LOCK に設定されている場合、VNC ビューワアプリケーションでの表示は可能ですが、操作は出来なくなります。
- VNC 接続中に“REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の設定を変更すると、VNC 接続が切断されます。
- 動作確認済み VNC ビューワアプリケーションについては、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。
- FTP によるファイル転送中やシステム Fs が 88.2kHz/96kHz の場合は、VNC ビューワアプリケーションの表示や操作がスムーズに行えません。

以下のポップアップメッセージの文章を変更しました。

旧メッセージ	新メッセージ	内容と対処方法	備考
CFn not recommended format for Recording/Playing.	メディア装着時： CFn formatting not optimal for Recording/Search. 録音開始時： CFn formatting not optimal for Recording.	メディアが本機でフォーマットされていないため、正常な録音 / サーチ動作を保証できません。 本機でフォーマットしてからご使用ください。	n=1 または 2 本機の規定よりも小さいクラスサイズでフォーマットされている際に発生。
CFn not recommended for Recording/Playing. (not UltraDMA)	メディア装着時： CFn not recommended type for Recording/Search. (not UltraDMA)	このカードは、システムの要求する仕様を満たさないため、正常な録音 / サーチ動作を保証できません。	n=1 または 2

## HS-4000 V1.22 追加 Popup メッセージ

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot Change Now Currently ON AIR	オンエア状態のため変更できません。	
Cannot Copy. Destination Project is different Fs.	コピー先の Fs が異なるためコピーできません。	
Cannot Copy. Selected Take already exist in Copy destination.	コピー先に選択したテイクが存在するためコピーできません。	
Cannot set Mark point in ON AIR Mode.	オンエアモードではマークポイントを設定できません。	
Cannot use Bridge file because it is illegal.	ブリッジファイルが不正だったため使用できません。	
Capture BC \$ Time to ALL? BC \$STANDBY -> Start BC \$END -> End	全てのエントリーを BC \$STANDBY/BC \$END マーク時刻の範囲に切り換えます。	
Capture BC \$ Time? BC \$STANDBY -> Start BC \$END -> End	BC \$STANDBY/BC \$END マーク時刻の範囲に切り換えます。	
CFn(vvvvvv) Fs : fs USED SIZE : u FREE SIZE : f TOTAL SIZE : t	オンエアモードでの CF カード情報表示	n=1 または 2 vvvvvv= ボリュームラベル fs :現在の Fs 設定 u :使用容量 f :未使用容量 t :CF 総容量
Change Fs to nnkHz?	表示された周波数にシステム Fs を切り換えます。	nn :Fs 周波数
Confidence Monitor is not available with current Fs/Rec CH settings.	Fs または録音トラックの設定が条件に合わないためコンフィデンスモニターは動作しません。	
Copy n selected Take?	選択したテイクをコピーします。	n= テイク数 n が 2 以上の場合は Takes
Copying Take ...	テイクをコピー中です。	コピーしているテイク数が複数の場合は "Takes..."
Directory contents changed via FTP. REBUILD required. REBUILD Now?	ディレクトリの内容が FTP によって変更されたため、再構築する必要があります。	
EDL Import completed but there are some wrong regions.	EDL のインポートが完了しましたが、いくつか問題のあるリージョンがあります。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Export System Backup Data to CF?	システムバックアップデータを CF カードに書き出します。	
Import All System Backup Data from CF?	システムバックアップデータ全てを CF カードから読み出します。	
Import User Preset Data from System Backup Data on CF?	ユーザープリセットデータを CF カード上のシステムバックアップデータから読み出します。	
Load Factory Preset?	工場出荷時設定をロードします。	
Load User Preset?	ユーザープリセット設定をロードします。	
Network Control Locked	ネットワーク制御は誤操作防止のためロックされています。	
nnn : NNNNNNNN cannot be found.	表示された番号と名前のテイクが見つかりません。	nnn : テイク番号 NNNNNNNN : テイク名
ONLINE is not available in Adjust Screen.	エントリー編集画面では ONLINE キーは操作できません。	
Play Error. nnn : NNNNNNNN	表示された番号と名前のテイクで再生エラーが発生しました。	nnn : テイク番号 NNNNNNNN : テイク名
Playlist Import completed but there are some wrong entries.	プレイリストのインポートが完了しましたが、いくつか問題のあるエントリーがあります。	
PLEASE CONFIRM Capture BC \$ Time to ALL? BC \$STANDBY -> Start BC \$END -> End	全てのエントリーの BC \$STANDBY/BC \$END マーク時刻の範囲への切り換え実施の再確認。	
PLEASE CONFIRM Change Fs to nnkHz?	表示された周波数へのシステム Fs 切り換えの再確認。	nn : Fs 周波数
PLEASE CONFIRM Export System Backup Data to CF?	システムバックアップデータの CF カードへの書き出しの再確認。	
PLEASE CONFIRM Import All System Backup Data from CF?	システムバックアップデータ全ての CF カードからの読み出しの再確認。	
PLEASE CONFIRM Import User Preset Data from System Backup Data on CF?	ユーザープリセットデータの CF カード上のシステムバックアップデータからの読み出しの再確認。	
PLEASE CONFIRM Load Factory Preset?	工場出荷時設定ロードの再確認。	
PLEASE CONFIRM Load User Preset?	ユーザープリセット設定ロードの再確認。	
PLEASE CONFIRM Reset ALL Start/End Point?	全てのエントリーの開始 / 終了時刻をファイルの先頭 / 末尾時刻にリセットします。	
PLEASE CONFIRM Save current setting to User Preset?	現在の設定のユーザープリセットへの保存の再確認。	
Rebuild changed Directory?	変更があったディレクトリを再構築します。	FTP により本機のファイル进行操作したあと、△ マークが表示されている REBUILD ボタンを押すと表示される。
Rebuild current project and changed Directory?	カレントプロジェクトと変更があったディレクトリを再構築します。	FTP により本機のファイル进行操作したあと、△ マークが表示されている REBUILD ボタンを押すと表示される。
Rebuild current session and changed Directory?	カレントセッションと変更があったディレクトリを再構築します。	FTP により本機のファイル进行操作したあと、△ マークが表示されている REBUILD ボタンを押すと表示される。
Rebuild selected project and changed Directory?	選択したプロジェクトと変更があったディレクトリを再構築します。	FTP により本機のファイル进行操作したあと、△ マークが表示されている REBUILD ボタンを押すと表示される。
Rebuild selected session and changed Directory?	選択したセッションと変更があったディレクトリを再構築します。	FTP により本機のファイル进行操作したあと、△ マークが表示されている REBUILD ボタンを押すと表示される。
Save changes in Current Playlists? A : aaaaaaaa B : bbbbbbbb	現在のプレイリストへの変更を保存します。	aaaaaaa : プレーヤー A のプレイリスト名 bbbbbbb : プレーヤー B のプレイリスト名
Save current setting to User Preset?	現在の設定をユーザープリセットに保存します。	
Take Copy failed.	テイクのコピーができませんでした。	
This file was converted to BWF format.	BWF フォーマットに変換しました。	WAV ファイルの Start Timecode を編集した際に表示される。